### 会員と千葉県連盟をつなぐ

### ちばニュース

2022年 3月号





### 千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年 3月 1日発行 通巻347号

### 安全登山の基本を守り

春山を楽しもう!

### 3月号目次

•	目 次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
•	千葉県連盟定時総会案内 ・・・・・・・・・・・・・・	3
•	全国総会報告(野田久生)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
•	" (安彦秀夫) ・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
•	" (伊東春正) ・・・・・・・・・・・・・・・・	8
•	労山基金の特徴・山岳保険との比較 ・・・・・・・・・・	1 (
•	山の日記念講演会案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
	3 日 4 日予定表	16

### 表 紙 写 真

今月号の表紙は、東葛山の会にお願いをしました。 会員14名がスイスアルプスでトレッキンングを楽しんだ時の スナップです。

シャモニーからフランスとの国境にあるバルム小屋まで登り、 国境を中央にして組体操の扇形のパフォーマンスです。 誰がホイッスルを吹いたかは定かではありません。 アルプスホルンでなく、組体操のピッピッピーはピッタリ?

---編集者----

### 千葉県勤労者山岳連盟

### 第56期(2022年)・第57期(2023年)定時総会の案内

2022年1月25日 県連盟理事長 野田久生

千葉県連盟は、2年毎に定時総会を実施しています。

今年度総会は、オミクロン株感染拡大を考慮し参加者の安全を最優先してオンラインで実施する事になりました。

本来ならば、総会は千葉県連盟規に定められた条項によって運営されます。 しかし、今年度は規約第14条により、代議員選出、決議等を理事会の総意で決定し下記の 通り実施します。ご理解とご協力をお願いします。

記

- ・日 時 2022年3月5日(土) 13:00~16:00 オンラインにより実施
- ·参加者 各会代議員 27名 · 県連理事 13名 · 県連盟役員 9名
- ・議案・資料 会代表者・代議員・県連理事に送付しました。

### ■総会議案書及び資料の要点

- 1. 議案書・資料の構成
  - 1) 利用者の利便性を考慮して、「議案書」と「資料集」の分割構成としました。
  - 2) 委員会活動を、第54期、第55期 活動報告・会計報告 第56期・第57期 活動方針・会計予算

の構成としました。

- 2. 第56期、第57期 定時総会スローガン
  - 1) 親しみの持てる、千葉県連盟を目指そう。
  - 2) 安全で楽しい山行のため、学習活動を充実しよう。
  - 3) 新しい仲間を迎える、迎えられる会をつくろう。
  - 4) 房総の豊かで美しい自然を守る運動に参加しよう。
  - 5) 千葉県連盟活動を、多くの会員の参加で活発にしよう。
- 3. 県連活動の要点
  - 1) 県連活動は委員会活動が主体です。この活動を充実していくために各会からの積極的な委員会への参加をお願いします。
  - 2) 組織強化・会員拡大に取り組みます。
  - 3) 房総の豊かで素晴らしい自然を守る取り組みを実施します。
    - ・「房総の山復興プロジェクト」に参加し、県内の山岳団体、協力団体と協力して復興作業を行います。
    - ・「山の日記念行事」(8月11日)田中陽希講演会に参加します。

以上

### 日本勤労者山岳連盟 第35回総会(2022年度)に参加して

理事長 野田久生

表記総会に千葉県連より代議員として参加しました。初めてなので戸惑うこともありましたが、2日間有意義な時間を過ごすことができましたので報告します。

千葉県連よりの参加者 理事長:野田久生、役員:安彦秀夫、伊東春正 計3人

### 行事名 日本勤労者山岳連盟 第35回総会

「権利としての登山」を掲げて、新しい登山文化を創り出そう!

- 日 程 2022年2月19日(土)13:00~18:10 --- 20日(日)8:30~12:30
- 会場 ホテルコンチネンタル府中 会議室(オンライン参加有り)
- 議 題 1. 第34期下期の活動総括と第35期の活動方針
  - 2. 第34期の財政活動総括と決算報告の予備35期の財政方針、予算の策定
  - 3. 全国連盟役員の選出、その他
- 参加者 地方連盟代議員 75人(委任状含む、内オンライン参加者 28人) 全国連役員・理事 46人(内オンライン参加者 6人)
- その他 1) 全国連盟の総会は2年毎に行われ、その間の年には評議会という形で 全国的な会議が行われます。(千葉県連の総会、代表者会議と同様です)
  - 2) 総会の結果は決議・決定集という形でまとめられ、後日各地方連盟加盟会に提供されます。今回は PDF データも提供されるということなので、データが届き次第県連各会に展開して会員に提供できるようにします。会員の方々はぜひ一読してください。労山への理解が深まると思います。

### ■ 総会で印象に残った主な議事

- 1. 登山時報の今後について (いろいろな意見・提案有り)
  - ・来年度から形態を変えて PDF データで提供される予定。
- 2. 労山趣意書の改正について
  - ・労山の魅力を会員に伝えるため必要ではないか等、様々な意見有
- 3. 各地方連盟より状況説明は興味深かった。
  - ・県独自の山旅冊子の作成。創立50周年を記念して50の山に登る等

### ■ 感想・その他

- 1. 環境の異なる地方連盟が一堂に会して討議を行うことは有意義であった。
- 2. 参加者は高齢者(70歳以上)が多い。今後全国連盟の活動を活発化するには、もう少し若い人が参加する必要を感じた。
- 3. コロナ禍の限られた中ではあったが地方代議員、全国連役員と情報交換できたことは有意義であった。今後県連活動に役立てたいと思います。

以上

### コロナ禍の全国連盟第35回総会に参加して

安彦 秀夫 (東葛山の会)

日時: 2022年2月19日(土)12:00受付~20日(日)12:15解散(1泊2日)

場所:ホテルコンチネンタル府中(東京都府中市)

代議員:会場23名、Web28名、委任状24名、欠席3名(代議員定数78名)

全国役員:会長、副会長、監事、事務局、専門委員、理事長、副理事長、理事など 千葉県連関係者(5名・敬称略):全国連盟理事(石川昌/会場、山本尚徳/会場)

代議員(野田久生/会場、安彦秀夫/会場、伊東春正/Web)

新型コロナウイルス禍が2年前から続いており、新規感染者数も急増し、更に、首都圏に『まん延防止等重点措置』が発出・延長され、不要不急の外出制限のある中、昨年2021年の『評議会』に続き、一抹の不安を抱えながらマスク着用で参加しました。当然ながら、参加者全員がマスク着用でした。また、コロナ禍ということで、Web 参加や委任状の代議員が多かったです。

議案書の提案説明が浦添理事長などからあった後、多くのテーマに対して活発な質問や意見・提案、そして各地方連盟からの活動報告などが2日間に亘りありました。Web参加者もいるということで、カメラの前の演台に出て発言する…という昨年に続いての『対面参加とWeb参加の併用』の形での総会でした。

### 日本勤労者山岳連盟 第35回総会 「権利としての登山」を掲げて、新しい登山文化を創り出そう!

2022年2月19日(土)~20日(日) 会場・ホテルコンチネンタル

以下に質問・提言そして回答 (⇒) などを報告します (順不動)。

- ① 『東京オリンピック・パラリンピックは強行されたが…』とあるが、『強行された』は不適切な表現ではないか?
  - ⇒有志で『開催中止すべきではないか…』という提言を出しただけでした。
- ② 規約改正理由として、『個人情報や全国連盟が公開していない重要な情報の漏洩問題…』とあるが、『公開していない情報』とは何か?
  - ⇒事故関係はマスコミなどに公開していない。
- ③ 『財政安定積立金支出 300 万円』が計上されているが、何か? ⇒会員の減少による連盟費の減少や専従者給与の増加などで、単年度では余裕がない。連盟費を上げない為に、コロナ禍で活動縮小になり余裕のある時に積み立てておくものです。
- ④ 行事主催者賠償責任保険の再開を目指す中で、地方連盟主催の行事の保険料を当面、基金運営委員会で支払う…とあるが、どういうことか?
  - ⇒今年度は試行的に掛金を支払い、様子を見たい。立替えではない。

- ⑤安全対策基金を申請しなかったが、申請の基準はあるのか? ⇒事故防止や安全講習などであれば、規模などを問わない。
- ⑥『趣意書』の見直しが言われているが、具体的にはどういうことか? ⇒趣意書は歴史的なもので簡単に変えるモノではない…という考えはあるが、当 時を尊重し、学識経験者を含めて、今日に合った表現に改正していきたい。
- ⑦女性委員会再編の中で、『ふさわしい人がいなかった…』とあるが、全国に呼び 掛けたのか?
  - ⇒規約に、『全国連盟の理事であること』とあるので、選出できなかった。各地 方連盟に呼びかけなかったが、個別には働きかけた。

### ⑧<安彦発言>

『登山時報』の有料購読者が会員の約10%と少なく、機関誌とは言えない。また、今後も減少傾向で、更に、コロナ禍で例会などが開催できず配布が難しい状況が続いている。この際、電子化しリアルタイムでのホームページアップに切り替えてはどうか?どうしても従来の紙媒体を希望する場合は、各地方連盟又は各会で対応を検討してみてはどうか?示されている方針は、従来と変わっていない。今後のタイムスケジュールを示してほしい。

⇒登山時報は購読料金が前払いなので、今年 2022 年 12 月号までは発行し、その後については、廃刊を含めて新たな機関誌・紙媒体の発行について検討を進め、 名称や内容等も含めて新たな発行体制を整えていく。

※具体的な方針は示されず、大きな不満・落胆だけが残りました。

### 9<安彦発言>

他団体との共同行動に関係することですが、『トレイルランニング』を楽しむ人が増えてきている。当初は、一般ハイカーとのトラブル(接触・衝突など)や自然破壊(登山道破壊など)などを心配したが、同じ山岳を活動対象としているので、共存する観点で取り組む必要があると思うが、如何でしょうか?

また、労山会員の中にも楽しむ人が増えてきており、事故発生時の労山基金の給付対象となるかどうかをお聞きしたい。

⇒危険性や自然保護などの観点から、対象山岳状況などを考慮し、各地方連盟ごとに関係団体と協議し、対応を決めて欲しい。また、<u>事故時の労山基金の給付に</u>ついては、練習時の事故は対象となるが、大会参加時の事故は対象外である。

※ゲレンデスキーやクライミングジムでの事故と同様な対応なので、今後更に対象となるように働きかけを継続したい…と思いました。

各地方連盟の活動状況が、資料集に沿って、南から北の順で報告されました。 多くの地方連盟で、会員の高齢化に伴い活動継続が難しくなり脱退する会も出てきているようです。又、コロナ禍で活動が縮小し、会員拡大に苦労している会も多いようです。一方で、会員増をしている会もあり、その秘策(?)は、ホームページの充実と会員の紹介などがあるようです。 2日目にも各地方連盟からの報告や発言があった後、浦添理事長から討議の纏めとしての報告があり、提案された次の議案4件は、修正なしで全て承認されました。

- ① 第1号議案:第34期下期(2021年)活動総括と第35期上期(2022年)活動方針 ⇒ <会場挙手採択: 保留5、反対0、賛成46 (Web 含む) >で可決
- ② 第2号議案:第34期下期 (2021年) 決算と第35期上期 (2022年) 予算 ⇒ <会場挙手採択: 保留5、反対1、賛成45 (Web 含む) >で可決
- ③ 第3号議案:日本勤労者山岳連盟の規約・規程の一部改定
  - \*規約→ 個人情報や全国連盟非公開情報の漏洩対応
  - \*規定→ ①登山時報や労山ニュースの名称変更・発行形式の変更などのため ②不動産管理委員会の廃止と一般財団法人山岳基金の設立のため
  - ⇒ <会場挙手採択: 保留7、反対0、賛成44 (Web 含む) >で可決
- ④ 第4号議案: 労山山岳事故対策基金規定の一部改定
  - \*救助捜索交付増額、入通院交付対象開始日数の短縮、無事故報奨金制度廃止等
  - ⇒ <会場挙手採択: 保留 5、反対 0、賛成 46 (Web 含む) >で可決

新特別基金制度の『無事故報奨金』の授与・表彰が『134 会』に行われ、千葉県連関連では『君津ケルン山の会』と『千葉民医連山を歩こう会』の 2 会でした。

引き続き、『栄誉功労賞』18名(千葉県連3名)と『永年会員』295名(千葉県連16名)が授与・表彰されました。

**役員選挙**は、立候補者が無く、『役員選考委員会』から役員候補の提案があり、選挙管理委員会のもと厳正に投票が行われ、候補者全員が信任を得て、会長、副会長、理事長、事務局長など全てが入れ替わりました。退任者の挨拶の後、、川嶋新理事長から新役員などの紹介がありました。千葉県連関連では、石川昌副理事長、山本尚徳理事、鶴田秀雄労山基金運営委員の3名で、2年後の総会までを託しました。

全議案を可決・承認して総会は無事終了となり、Web 参加者も加えて、全員マスクを外して集合写真を撮り散会となりました。

初日の夕食前に、『関東ブロック打合せ』が行われ、『2022 年行事任務分担』などに付いて話し合われました。『自然保護交流集会』は、2020 年から千葉県連が担当でしたが、コロナ禍で2年続けて中止となり、今年も担当となります。自然保護委員会が中心となり企画運営をお願いします。

### 【感想】

コロナ禍で、昨年と同じように夕食と朝食は、『マスクをし、使い捨て手袋を付けて料理を取り分け、テーブルは全てはす向かいに座り、静かに食べる…』というビュッフェでした。今年は参加者が多いので、夕食も朝食も2部制でした。

夕食後の正式な懇親会もなく、他の地方連盟の参加者との談笑も皆無で、折角の機会なのに情報交換が充分にできなかったことが心残りでした。(2022/2/24/Thu.)

### 全国連盟 第35回総会 オンライン参加報告

教育遭難対策委員会委員長 伊東 春正

2022年2月19,20日に開催された総会に、Zoomによるオンライン参加をしましましたので、報告します。

コロナ禍により代議員は府中の会場に行くか、オンライン参加かを選択できたので、リアル参加とオンライン参加とが共存するかたちとなりました。

千葉県連の総会がオンラインでの開催予定であるため、参考となるよう議事内容より運営 面を報告します。

### ◆総会までの動き

一か月前:代議員登録

5日前:オンライン参加申込

3日前:Zoom接続テスト実施(案内は4日前)

3日前:総会資料(抜粋版)とZoom参加資料が郵送で送られる

前日:総会資料(最終版)のURL 通知

\*急遽オンライン開催が決定されたようで、慌ただしいスケジュールである。

### ◆総会本番

総会は定刻通り開始した。

- · Zoom 接続不良による混乱もなく、全員ミュートになっている。
- · Zoom 参加は45名(代議員28名、全国・地方理事13名、傍聴3名、会場画面1)
- ・会場を映す画面が小さく、発言者の顔や表情までわからず。 後日、表示設定をギャラリービューからスピーカービューに切り替えると、発言者画面 を拡大表示させることがわかった。

### ◆オンラインからの発言

- ・事前に送信しておいた Web 発言通告画面 (グーグルフォーム機能) に添って議長より 指名され、指名された人はミュートを解除して発言する
- ・オンラインでの発言は、総じて制限時間 5 分を超える発言が多かった。 このため二日目は、議長が発言通告を読み上げ、オンライン参加者が発言することは なかった。

### ◆休憩時間

・画面共有機能で Zoom 全画面に休憩時間が表示されたのは、分かり易かった。

### ◆議案採決

- ・採決時間になったとき、チャット画面に Web 採決画面の URL が配信される。
- ・ URL をクリックし Web 採決画面で投票する (グーグルフォーム機能)
- ・各議案のWeb 採決の集計に10分くらいかかり待たされる。 投票されない人が常に5名ほどいて保留扱いされていた。 この人たちは多分チャット画面を見ていないと思われる。

### ◆所感

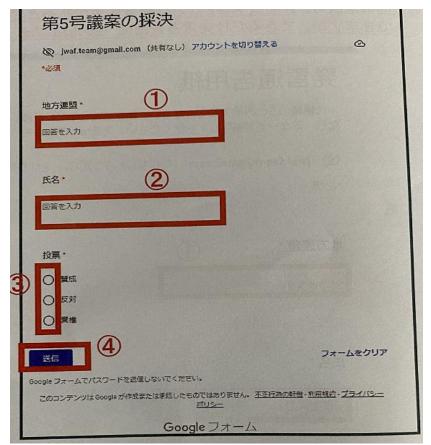
リアル参加とオンライン参加とが共存するという難しい総会であったが、運営はスムーズであった。

ただし、採決に関しては、グーグルフォーム機能を使わずに Zoom の手を挙げる機能でやれば、短時間に採決できたのではと思われた。

総会議案書と資料集は共に80ページと膨大で、とても印書する量ではなく、パソコン画面での参照となる。その時に文字列検索をしようとしてもできず、非常に不便であった。多分、紙をスキャナーで読み取り、画像として保存したからだと思われる。PDFはEXCELやWORDから直接出力して作成するべきである。

### □ Zoom ミーティング





Web 採決画面

以上

### 『登山時報』2022年2月号 №.564 より

# |岳保険との比

### 労山基金とは

民間保険と共済制度

ものである。人通院費用は、・ 生時に要した「救助捜索」と山 でカバーされている。 般的には「国内旅行傷害保険」 亡・後遺傷害」等に支払われる ガの治療に要した「入通院」、「死 行中の転倒・滑落などによるケ 山岳保険は、山岳遭難事故発

効になる。掛け金は共済制度の 款に基づいたサービス内容が有 け金を支払った)時点から、約 険会社・団体と契約を結んだ(掛 険制度」と「相互扶助の共済制 づき提供されている「民間の保 山岳保険には、保険業法に基 がある。どちらも個人が保

ほうが少額であることが多い。

## 労山基金は互助制度

後に「寄付金」を納める。「後 うのではなく、補償の有効期間 い的な制度」だ。 払い方式かつ会員相互の助け合 会員に限る)は、掛け金を支払 助制度」である。加入者(労山 済制度にも属さない唯一の「五 基金)は上記の民間保険にも共 労山山岳事故対策基金 (労山

それは2006年に施行された 来を考える懸話会」を全国保険 れた。そこで「共済の今日と未 基金といった)は存続が脅かさ 定により労山基金(当時は遭対 保険業法の改定」に遡る。改 なぜ後払い方式かというと、

へと変更した。

期間(補償は一年間)が終了し 金加入者が遭難対策費用を有効 れまで前払いだった制度を、基 金融庁と交渉した。そして、そ 機関連合会、全国商工団体連合 医团体連合会、全日本民主医療

会とともに結成して、粘り強く

た後に寄付金として納める方式

活動を行っていない。 ように外部向けに大々的に宣伝 には加入できないため、保険の 労山会員でなければ労山基金

### 労山基金の概要

我々労山会員の自主的な互助制 民間の保険会社に依存しない 基金(遭対基金)」と呼ばれ、 年を迎えた。当初は「遭難対策 タートした。創設から昨年で50 先行して1971年3月にス 度として発足した。 労山基金は、関東ブロックが

えない範囲) 金の一定額(1500万円を超 通院への交付を行うほか、寄付 現在では、救助搜索活動や入 は、毎年、地方連

> るものだ。 前対策に活かされるよう、正し けでなく、事故を起こさない事 山基金が、事故後の助け合いだ 盟が開催する安全登山のため い登山の発展のために行って して支出されている。これは労 学習活動や救助活動へ補助金と

の2種類がある。 労山基金には「個人」と「団体

委員会宛てに行う。 労山基金担当者が労山基金運営 できる。手続きは会・クラブの 根幹をなしている。 寄付金は1 の会員であれば、いつでも加入 な交付内容は救助搜索費と入通 付は10口までと制限がある。主 口1000円で上限はなく、交 院費で、海外登山も対象となる。 た時の救済制度で、労山基金の 「個人」の申し込みは、労山 個人」は皆さんが事故に遺

になるため、 制度である。 会員に対する救済を行うための 付金を負担し、団体として所属 団体」は、会・クラブが寄 交付は救助捜索費 交付対象が多人数

登山時報 2022 年 2 月号

労山基金「個人」と「団体」の補償内容

	個科技學學學	人	団体		
労山基金	10	5ロ (モデルプラン)	10	5ロ (モデルプラン)	
補償期間	1年間	1年間	1年間	1年間	
救助搜索費用※	30万円~40万円	150万円~200万円	60万円~80万円	300万円~400万円	
救援者等費用	10万円	10万円	_	_	
死亡	20万円	100万円	_	_	
入院(日額)	800円 (上限:168,000円)	4,000円 (上限:840,000円)	-	-	
通院(日額)	400円 (上限:20,000円)	2,000円 (上限:100,000円)	7 <u></u>	_	
個人賠償・携行品損害	-	_	_	_	
寄付金	1,000円	5,000円	2,000円	10,000円	
備考	海外山行にも適用される。 一定条件の山行については、3倍交付となる 特典制度がある(交付上限は10口のため、5 口の場合は2倍交付)。その条件は、①一般 登山道、②標高 2000m以下、③標準コース タイム5時間以内、④日帰り、これらすべて該 当するもので、⑤岩場・沢・雪山・海外は含ま ない。				
	※初年度は寄付金300	倍まで。継続1年毎に1	0倍加算され、継続11年	F目以降は400倍まで。	

助捜索交付である。交付の条件 としては、事前に山行計画書が 入通院交付、死亡交付および救 個人」が対象とするのは、

歩き出した地点をいう。

交通機関または車両などによる 対象である。登山口とは、公共 ら下山口までの山行中の事故が 最終移動地からザックを担いで 交通機関の事故を除く登山口か 交付範囲は、交通事故および

ある。

補償内容を比較したのが表2で

労山基金と他の山岳保険との

害、海外登山には適用されない。 は救助搜索に特化した山岳保険 象が違うことがわかる。JRO であり、入通院、死亡・後遺障 個人」とを比べると、 jRO (ジロー) と労山基金 補償対

17 登山時報 2022年2月号

索費用の合計を会員数で割った

年間で会員に支払った救助捜

ROの保険料が廉価なのは、

されない。寄付金は1口200 搜索費のみ、入通院費には適用 で登録できる。 0円で、最高5口(1万円)ま 海外登山は対象外である。救助 故であれば交付を受けられる (1会につき年2回まで)。ただ 交付対象は国内登山のみで、

助捜索費だけに特化している。

具体的な金額は表1を参照さ

人通院費や死亡交付はなく、

救 は されていることが必須である。 連盟海外委員会にも事前に提出 ること、海外登山の場合は全国 所属会・クラブに提出されてい

なお、前述通り、「団体」

用に限定されたものとなる。会

クラブが登録し、その会員の事

# 各種山岳保険との比較

日本山岳救助機構(jRO)と

えば東京都連盟の期限月は3月 効期限月が統一されている。例 ブ毎(原則、地方連盟毎)に有

有効期間は1年間。

会・クラ

労山基金と

れたい。

で、有効期間は4月1日~翌年

の比較

3月末日となる。

表2 労山基金と各種山岳保険との補償内容比較(単位:円)

	労山基金			日本山岳教助機		モンベル山岳保険	
	ココヘリ+ 「個人」5ロ	「個人」5口	「団体」5口	構 JRO (山岳遭難対策制 度)	YAMAP登山保険 (レスキュー保険)	(シンブルブラン F114)	
救助搜索費用	¾ 1,500,000 ~  5,000,000	1,500,000~ 2,000,000	3,000,000~ 4,000,000	5,500,000	3,000,000 (免責30,000)	1,000,000 +追加費用300,000	
入院費用	840,000	840,000			( <del></del> )	_	
通院費用	100,000	100,000	-		_	,—,,	
遺体搬送費	_	_	3	300,000	_	_	
死亡·後遠障害	1,000,000	1,000,000		_	_	50,000	
救援者費用	100,000	100,000	100,000	300,000		5,000,000	
携行品損害	☆ 30,000	-	_	_	_	_	
個人賠償責任	☆ 1億		<u></u>	12-21	<u> </u>	1億	
海外登山 救助費用	1,500,000~ 2,000,000	1,500,000~ 2,000,000	-	_	-	_	
年費用-保険料	9,015 (労山基金5,000+ ココヘリ4,015)	5,000	10,000 一人あたり100(会 員100人の団体の 場合)、500(会員 20人の団体の場 合)など	2,200+ α	4,800	6,340	
備考	済する。 入院費は210日まで(4000円/日)、通院 財捜索に特化。 教助捜索に特化。		α (事後分担金)の 目安は300~700 円。 救助捜索機関への 謝礼費として1機関 につき1万円限度の 実費。 初年度は別途、入会 金2,200円が必要。	品損害の補償も付	モンベル山岳保険には3ブラン・合計9のコースがある。2021年10月から国内における疾病や悪天候、噴火が原因による連難も補償対象にした。ここに挙げたのは補債金額と保険料がもつとも安いコース。		
	目から交付。 ※コヘリに加入している場合、ココヘリサービス対象に限り、労山基金の寄付金1,000倍まで。 本ココヘリ付帯補償。						

YAMAP保険とモンベル保険

大助捜索費用が補償される。 対助捜索だけに特化している。例 えば、5口(寄付金1万円)で えば、5口(寄付金1万円)で えば、5口(寄付金1万円)で をは、60万円~400万円の救助 関に条件はない。100人所属 関に条件はない。100人所属 で会の場合、一人当たりの寄付 の会の場合、一人当たりの寄付 がなくても、会・クラブが労山 なは、100円相当になる。つま り、個人が労山基金に加入していれば、 対助捜索費用が補償される。 金額(事後分担金)を請求するを額(事後分担金)を請求するで、救助搜索費は少額になっているので、救助が一般的となっているので、救助が一般的となっているの

營山時報 2022 年 2 月号 18

0万円と労山基金「個人」5口 は数有利であるが、労山基金は になる。入通院はYAMAPの になる。入通院はYAMAPの この保険では補償対象としてい ないため、圧倒的に労山基金が 有利である。決定的な違いは労 山基金「個人」が海外山行を対 象にしているのに対して、YA MAPの保険は国内山行のみを 対象にしている。

3千円台までと幅がある。 の3千円台までと幅がある。 では、モンベルの保険には、 では、モンベルの保険には、 でがあり、補償内容が異なる。 保険料(年額)も7万円台から 保険料(年額)も7万円台から

# 2022年の展望

への入通院の免責事項廃止を提は、加入者の傷病による病院等は、加入者の傷病による病院等は、加入者の傷病による病院等

案する。

「入院」は事故発生日から1年以内の入院日数3~210日」に(現行)を「2~210日」に 改める。また、「通院」は事故 発生日から1年以内の通院日数 3~5日(現行)を「1~50日」 に改める。

改定は総会の承認が条件となる。

# 倍補償にアップ 提案② 救助捜索費用を500

を 会ことを提案する。 に、救助捜索費用を最高400 は、救助捜索費用を最高400

現行では、継続して労山基金 現行では、継続して労山基金 の 0 倍とし、最高 4 0 0 倍まで)。変更後は、加入初年度は 3 でとする。但し、海外についてでとする。但し、海外については 4 0 0 倍までとし、最高 5 0 0 倍まな4 0 0 倍までとし、最高 5 0 0 倍まな 4 0 0 倍までとし、最高 5 0 0 倍まな 4 0 0 倍までとし、海外については 4 0 0 倍までとし、海外については 4 0 0 倍までとし、海外について

り1000倍補償」は変わらなコヘリサービス対象の事故に限ったが、ココヘリ加入者の「コ

# タートを目指す 行事主催者賠償責任保険の再ス

声が寄せられていた。 労山が提案して三井住友海上 保険」と『行事主催者賠償責任 取り扱っていた『個人賠償責任 取り扱っていた『個人賠償責任 取り扱っていた『個人賠償責任 なり、会員から復活を望む 止となり、会員から復活を望む

詳細は検討中である。 「行事主催者賠償責任保険を東京 海上日動火災保険の代理店と契 約締結できるよう交渉中であ る。従来の「行事主催者賠償責 任保険」とは次の点が異なる。 年間契約で、年間の参加人数見 年間契約で、年間の参加人数見 年間契約で、年間の参加人数見 なみを予め提出して、契約期間 込みを予め提出して、契約期間 込みを予め提出して、契約期間 終了後に人数実績に応じて精算 終了後に人数実績に応じて精算 終了後に人数実績に応じて精算 終了後に人数実績に応じて精算 をある。 に、その都度の契約だった)。

「ロ 22年4月1日から施行したい 22年4月1日から施行したい

労山基金と各種山岳保険との 性較を表2で示したが、個人賠 償への手当てが薄くなっている ことがわかる。労山会員に向け た「個人賠償責任保険」の廃止 た「個人賠償責任保険」の廃止 た「個人賠償責任保険」の廃止 は、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に は、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に な、自分自身で個人賠償責任に を負には個人賠償責任を なることから、コ

(今野善伸/労山基金運営委員)

労山が損害保険会社と契約して会員 に案内している短期補償型保険につ いては、次ページを参照されたい。

以上3点について、基金運営

17・18・20 ページに掲載した表は、日本動労者山岳連盟ホームページ(jwaf.jp. 閲覧 日 2021.12.20)及び山と渓谷社『山の便利暖 2022 (MOUNTAINEER'S DATA BOOK)』(P 193 - 201)を参照して筆者が作成した。

19 登山時報 2022年2月号

山行毎に利用されているのが「国内旅行傷害保険」である。山行毎に申し込み、契約期間は山行期間中だけという短期補償型保険である。労山が損害保険会社と契約して、会員へ案内している短期保険としては「労山短期掛け捨てプラン」がある。申し込みは労山会員に限るが、労山会員でなくても加入できるため、公開山行、バスハイク、各種行事、新人加入時などに利用されている。

### ハイキング

ハイキングを対象とした労山短 期掛け捨てプランとM社のプラン との比較表 A1 を掲載したので参 照されたい。労山短期掛け捨てプ ランは、掛け金が安く補償日数に 選択の幅がある。

表 A1 短期補償型保険の比較 (ハイキング)

	労山短期掛け捨てプ ラン 公開山行・ハイ キングタイプ	M社のN保険
プラン名	100	SB12
補償期間	1泊2日まで	1泊2日まで
救援者費用等	_	300万円
死亡•後遺傷害	200万円	290万8千円
入院(日額)	1,800円(通院850円)	3,500円
個人賠償責任	3-	1億円
携行品損害	<del>-</del>	
保険料(一人)	100円	250円
適用範囲	バスハイク・各種行事、新人加入時などに利用できる。山 岳登攀およびその 類似行為は対象 外。	国内トレッキング、 サイクリング、ゲレ ンデスキーなどアウ トドア活動中が対 象。
備考	2口まで加入可。補 償期間は最長で13 泊14日まで(保険料 は1口200円)。	補償期間は最長で6 泊7日まで(保険料 500円)。

表 A2 短期補償型保険の比較(山岳登攀)

	労山短期掛け捨てプ ラン 山岳タイプ	M社のS保険		
プラン名	S	SF12		
補償期間	1泊2日まで	1泊2日まで		
遭難捜索費用	_	50万円		
救援者費用等		300万円		
死亡·後遺傷害	242万円	199万9千円		
入院(日額)	2,400円 (通院1,200円)	_		
個人賠償責任	_	1億円		
携行品損害	_			
保険料(一人)	1,000円	1,000円		
適用範囲	国内でのピッケル、アイゼン、ロープなど の用具を用いた山岳登攀、山スキーな どに適用。			
備考	2口まで加入可。補 償期間は最長で13 泊14日まで(保険料 は1口1567円)。	補償期間は最長で 6泊7日まで(保険料 1500円)。		

### 登攀、アルパイン

労山短期掛け捨てプランにも M 社の短期保険にも、登攀用具 (ピッケル、アイゼン、ロープ、その他ギア)を使う登山を対象としたものもある。補償期間 1 泊 2 日までの山岳登攀の場合、M 社には保険料 1000 円と 2000 円のコースがあり、掛け金によって補償額が異なる。

1000 円の短期補償型(山岳登攀) の保険について、労山短期掛け捨てプランと M 社のプランとを比較した表 A2を参照されたい。労山短期掛け捨てプランは入通院費用が補償される。救助搜索費用については、労山基金に1口加入すれば(寄付金1000円 補償期間1年)、最大40万円補償される。

登山時報 2022 年 2 月号 20

### グレートトラバース百名山の

### 田中 陽希 講演会案内

- ・ 実施日 2022年8月11日(木)山の日 13時~16時
- ・ 会 場 千葉市民会館(JR千葉駅より・徒歩3分)
- ・ 講演者 田中 陽希氏
- ・ 主 催 「房総の山復興プロジェクト」

### 田中 陽希氏 紹介

- ・明治大学卒業後 山岳・アウトドアガイドとして幅広く活動中
- ・2012年・2013年 パタゴニア・エクスペディションレース に出場し2年連続2位となる。
- ・2014年~2021年 「グレートトラバース百名山一筆書き」 「グレートトラバース2」「グレートトラバース3」人力踏破に挑戦 この様子はNHKで放送されてフアンも多い。

### 「房総の山復興プロジェクト」と

先の台風と大雨により房総の自然は大きな被害を受けました。 その後、房総の登山道の復旧には多くの団体、個人のボランティアが 取り組んでいます。しかし、安心して登山が出来るまでには復旧出来 ていません。千葉県連盟では、個人で復旧作業に取り組んでいる会員 のサポートにとどまっています。房総の山を、安心して楽しむために 早急に登山道の復旧作業に取り組む必要があります。

この様な現状を打開し、房総の山復興に取り組む事を目的として 千葉県内の山岳3団体が参加して「房総の山復興プロジェクト」を 立ち上げました。

千葉県連盟は創立以来、房総の自然保護に取り組んで来ました。 その活動を継続するために、多くの会員の参加・協力をお願いします。 問い合わせ先・要望は 千葉県連 広木国昭

Eメール: danohiro@jcom. zaq. ne. jp

各会で、参加者をまとめて申込みをして下さい。

### 県連予定表

		人工			
3月			<b>4月</b>		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	火		1	金	
2	水	役員会(ZOOM)	2	土	雪上技術講習
3	木	定時総会招待メール(URL)配信	3	日	
4	金		4	月	
5	土	定時総会 13時~16時(ZOOM)	5	火	
6	日		6	水	役員会(ZOOM)
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水		9	土	
10	木		10	日	
11	金		11	月	
12	土		12	火	
13	日		13	水	
14	月		14	木	
15	火		15	金	
16	水		16	土	
17	木	理事会	17	日	
18	金		18	月	
19	土		19	火	
20	日		20	水	
21	月		21	木	理事会
22	火		22	金	
23	水		23	土	
24	木		24	日	
25	金		25		教遭委員会(ZOOM)
26	土		26	火	
27	日		27	水	
28	月	教遭委員会(ZOOM)	28	木	
29	火		29	金	
30	水		30	土	
31	木				

### 事故発生時の連絡先

●事故一報は事故発生後一か月以内に!

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで!

<u>全国連盟事務局</u> <u>県連教育遭対委員会</u>

メール: jwaf@jwaf.jp メール: itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

ファクス: 03-3235-4324 メールのみとします

連盟費の振込先はこちら!

郵便振替口座 00160-3-481509 (ゆうちょ銀行 ○一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者: 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者: 広木国昭

住所: 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室 電話: 043-306-1190 E-mail: rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP: https://www.cwaf.jp